



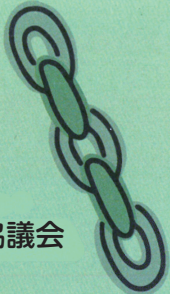
つながる防災隊

No.15

令和2年7月20日 発行

発行人：四日市市地区防災組織連絡協議会

会長 里中 俊雄



目次

1. 協議会活動の報告 1 P
2. 各地区での取り組み 2 P
3. 防災情報 4 P

今回は、各地区の防災への取り組みを中心にご紹介します。

四日市市地区防災組織連絡協議会 総会について

四日市市地区防災組織連絡協議会 会長 里中 俊雄

令和2年度の四日市市地区防災組織連絡協議会総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面表決により総会の議決を得ました。

今年度も避難所開設訓練等の訓練強化や各地域での防災啓発活動の強化を図り、地域防災力の強化を目指していきます。

新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐために、 一人ひとりができる対策を知っておこう！

●守ろう！咳エチケット







感染症の拡大を
防ぎましょう

咳エチケット





何もせずに咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを手でおさえる

マスクは鼻から顔を覆い、隙間のないように着けましょう。

●3つの「密」を避けましょう

3つの【密】、絶対に避けて

換気の悪い
密閉空間



むんむん

大勢がいる
密集場所



ぎゅうぎゅう

間近で会話する
密接場面



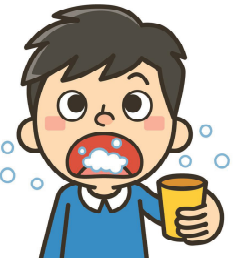
がやがや

●3つの予防習慣を続けましょう

「手洗い」



「うがい」



「マスク」



受け手から担い手へ

富洲原地区連合自主防災隊 隊長 寺本 昭

令和元年11月10日（日）に富洲原地区の全住民を対象にした総合避難訓練を実施しました。内容は、例年のようにまずは高台避難をします。その後、会場である富洲原小学校の運動場・体育館・講堂で体験や展示を行い、防災・減災について考えてもらうという日程です。

当地区では、学校の協力がありこの訓練に中学生全員が参加しています。また、これまでは、参加して体験をするといった構えでしたが、今回は、体験コーナーなどで大人と一緒に活躍してもらう場を設けました。今回は、避難所までの誘導、土嚢の作り方、発電機の使い方などで力を発揮してくれました。

高齢化が進む当地区では、中学生の力は大変大きなものです。災害に備えて「受け手」から地域を支えていく「担い手」として育ててほしいと願っています。



アルファ米調理の様子



土嚢作成訓練の様子

常磐地区の「初動期における避難所設営訓練」

常磐地区防災協議会 会長 木寺 秀臣

常磐地区では、初動期限定の避難所設営訓練を4年間継続して実施しています。2013年に12,500世帯に「防災意識に関するアンケート」を依頼し2,035世帯の回答を得ました。この結果から改めて住民の防災意識の啓発を図る必要があるのではないかとことから、地区防の主事業を「初動期における避難所設営訓練」とし、啓発活動を中心に講演会やHUG教室、防災訓練等を積極的に実施し、自助共助の重要性を訴えることに重点を置いてまいりました。

「災害が起きた時、ただ、行政が来てくれるのをあてもなく待ちますか？発災から1、2日は行政の支援は期待できません。それとも、まずは身近な住民同士で助け合い、やれることをやって行政などの支援を待ちますか？」「初動期においては避難者自身が避難所の秩序を保ち運営をしなければならない」ことなど、この体験型訓練は、避難する立場になった時、避難所の開設に避難者の積極的な参加を求め、何をすればよいのかを問いつける機会になっています。

支援を必要とする高齢者や病气やけが人、妊婦さん、外国人、障害のある方、ペット同伴の避難者、また避難者を援助する中学生ボランティアや「本部、総務、受入、救護、管理」など役割を与えた住民、さらには四日市医師会、保健所からの職員も参加し、全員が一体となった訓練でした。

多少の混乱はありましたが、このような避難者主体の体験型訓練を一人でも多くの人を経験し、学ぶことによって常磐地区の防災力向上につながると確信しています。



物資配給訓練の様子



新聞紙スリッパの作成

河原田地区の防災活動・防災意識の向上に向けて

河原田地区自主防災協議会 会長 徳田 豪材

河原田地区では、年間を通じて多くの防災活動を行っています。令和元年は、台風19号をはじめ、大きな災害に襲われた年でした。これからは災害に耐えて生き延びることが現実問題になりつつあります。風水害・巨大地震災害などの現実を知り、地区と危機管理室が作り上げた「四日市市ハザードマップ」をベースに、如何に凌ぐかということ、日頃から考えておく必要があります。当地区は防災訓練をはじめとし、防災講演会や女性のための防災講座、住民参加の農芸高校防災訓練等の防災活動を実施しています。

取り組み内容としては、四日市市ハザードマップを使った「読取り講習会」や男性がいない時の災害を想定した女性のみでの「簡易担架の組立」使用方法の実習のほか、住民参加農芸高校防災訓練では、三角巾を使つての「応急手当」方法を生徒の皆さんに教わりながらの実習を実施しました。また、女性のための防災講座では、毎年、県地区女性防災「クローバー」さんのご協力を得て、講座ならびに講習会等を開催し、住民の防災意識と知識を高める防災活動を実施しています。

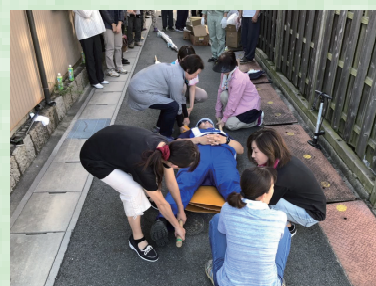
今後も、河原田地区の防災意識の向上のために、このような活動を積み重ねていきます。



ハザードマップ読取り講習会



女性のための防災講座



女性のみでの負傷者搬送訓練

内部地区の自主防災隊の取り組み

内部地区自主防災協議会 会長 東川 日出夫

内部地区は、四日市市の南部に位置し、内部川を中心に広がる自然豊かな地区である一方、近年大規模な宅地化が進み若い家族も増え、特色が町ごとに異なり混在している地区でもあります。

そのため、災害を知らない人も多く、内部の過去の災害を学ぶことで地域防災力向上の大きな力になるのではないかと考え防災活動をしています。昨年で3回目となる地元の災害体験者の講演会では、内部川氾濫での講演を体育館にて対話方式で行いました。

また、市内の多くの人たちのご理解ご協力をいただき女性防災隊「ドリームステップ」を設立しました。ドリームステップでは、日頃から地域の皆さんが防災意識を高められるよう、また非常時に少しでも安心できるよう、普段から災害に対する備えを大切に、女性メンバーが一丸となって活動しています。

今後も防災訓練の実施はもちろんのこと、講演会の開催や女性防災隊の活動等さまざまな活動を通して、住民同士の助け合いを啓発出来るよう、オール内部で防災活動に取り組んでいきます。



講演会の実施



ドリームステップの取り組み

共同地区防災訓練『避難所運営訓練』 ぶっつけ本番・初めての試み！

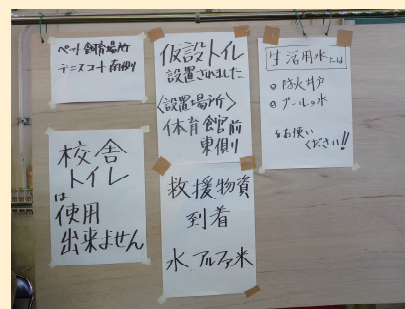
共同地区防災組織連絡協議会 会長 桂 完

共同地区では、前回までの防災訓練とは異なり、参加者全員を対象に実災害に即応できる避難所運営訓練を11月10日（日）実施しました。訓練の中から問題点や改善点などの課題を見つけ、いざというときに生かすことを目的とし、災害発生時の行動や住民一人ひとりが行う「自助」、連携して行う「共助」に関する内容の訓練を実施しました。様々な問題が続出する中で、個々の問題に対処しながら進める訓練の難しさを実感させられましたが、無事終了する事が出来ました。

避難所運営は、避難した住民一人一人が主体となり、円滑に運営する事が重要です。そのためには、地域住民の防災意識の向上を図り、だれでも運営に携われるよう、継続した訓練・研修を行う必要があります。今後は、実情に合わせた訓練や講習会を通じ『他人事ではなく我がこととして備える』『自分の命は自分で守る』を啓発し、災害に強いまちづくりを進めていきます。また、新型コロナウイルス等の感染症に対処できるようマニュアルの改正にも取り組んでいきたいと考えています。



避難所運営訓練の様子



訓練で設置した掲示板

風水害に備えましょう

近年、甚大化・頻発化していると言われ、毎年のように発生する風水害。
そんな風水害に備え、家庭でも被害が発生する前から対策をしておきましょう。

●気象情報やハザードマップを確認



- 最新の気象情報を確認しましょう。
- 避難所のルートや危険な箇所を把握しましょう。

●風雨への対策や避難の準備！！



- 風で飛ばされやすいものを片付けや雨戸を閉め、風雨への対策をしましょう。
- 非常持ち出し袋の中身を確認しましょう。
- 避難に時間を要する方は、早め早めに避難の準備をしましょう。

●避難に関する情報に注意し、避難！！



- 四日市市から発表される避難の情報に注意し、必要に応じ速やかに避難しましょう。
- 避難に時間を要する方は、早め早めの避難行動をしましょう。

●命を守る行動！！落ち着いて行動！！



- 浸水被害や土砂災害が発生してからの避難は非常に危険です。
- 「住宅の位置」や「住宅の構造」、「既に浸水が生じている状況なのか否か」によって「自宅外避難」の必要性は異なります。
- すでに災害が発生し、外出することが困難な場合は、家の中の安全な場所に留まりましょう。

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、
災害時には、危険な場所にいる人は
避難することが原則です。

知っておくべき5つのポイント

- 避難とは[難]を[避]けること。
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校・公民館だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- マスク・消毒液・体温計が不足しています。
できるだけ自ら携行して下さい。
- 市町村が指定する避難場所、避難所が
変更・増設されている可能性があります。
災害時には市町村ホームページ等で確認して下さい。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。
やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認して下さい。

